



高木瀬小学校 学校だより

第13号
R8.1.20発行
文責:橋口

いよいよ、3学期のスタートです！

明けましておめでとうございます。昨年に引き続き、今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、3学期スタートの1月8日。この冬休み明けは、実は毎年かなり不安です。クリスマスやお正月など、子ども達にとって楽しいイベントがぎゅっとつまった冬休み。子ども達は「できれば、いつまでも浸っていたいと思うだろうな。学校がいやだなあと思う子がいるだろうな」と心配になるのです。

しかし、その心配はみごとに裏切られ、元気な明るい笑顔で登校する子ども達がとても多かったです。何より子ども達同士が「わあ・・・」と駆け寄り、おしゃべりが始まる光景がいたるところで見られました。所せましと走り回る姿、ドッジボールに興じる姿で、運動場も初日からにぎやかでした。きっと、充実した冬休みに満足し、友だちパワーで気持ちもうまく切り替えられたのではないかと思います。

さて、3学期は、進学・進級に向けた0学期（ゼロがっき）の異名をもつ大切な学期ですが、「一月行く 二月逃げる 三月去る」とも言われるくらい短い学期です。実際に数えてみると、登校するのは50日（6年生は44日）です。

始業式では、カレンダーを示しながら次のような話をしました。「『終わり良ければ全てよし』と言います。結果がうまくいけば、それまでの過程の欠点や問題はすべて許される（あるいは問題にならない）という、何とも都合のよいことわざです。せっかくですから、そのことわざに乗かって、短い3学期を充実した学期にすることで、この1年をOKとしましょう」と話をしました。

子ども達が、3学期を終える時に、「ああ、この1年、楽しかった」「よくがんばったな」と振り返ることができるように、全職員で、それぞれの子ども達の成長を支えます。今学期もお力添えをよろしくお願いいたします。



子ども達の目標を応援できる伴走者になりませんか？



新年の抱負、目標についてご家庭でお話はされたでしょうか？

8日(木)、9日(金)と教室を巡回したとき、「3学期の目標」や「3学期にがんばりたいこと」等をワークシートに書いている学級がありました。「全部の学習をがんばる」といった気合に満ちたものもあれば、「あまり怒られないようにする」という子どもならではの可愛いものもあり、見ていてとても楽しかったです。達成できる

かどうかはおいておいて、子ども達の3学期に向けた意欲を感じました。

さて、学校サポーターの皆さんはどのように子どもに声をかけられたでしょうか。私はこのことを毎年、皆さんに問いかけ、次のようにお願いをしています。

「また、どうせ3日坊主になるんじゃない？」「口だけでしょ？」なんて出端をくじくような言葉は、決して口にしないでください。これらの言葉は、せっかくのやる気を失わせるだけではなく、子ども達の自己肯定感も傷つけてしまいます。

「何回挫折しても大丈夫」「見捨てないよ」「挑戦していること自体に価値があるんだよ」「今度こそきつとうまくいくよ」と子ども達を励ましていただきたいと思います。子ども達の最も身近にいる私達が一番の応援者であれば、子ども達はきっとくじけず、挑戦し続ける、たくましい子に育つと思います。

インフルエンザ情報

～今週から寒波到来の予報です～

19日現在、本校の1年1組でインフルエンザの確定診断者が増えています。

今後、寒波が到来するということなので、また他の学年へも流行の波がくるのではないかと、いねいに手洗いをするよう指導をしたり、教室の換気に努めたりしています。

本校では、感染者が増えてきた場合は、リーバーで保護者に情報を提供します。ご家庭での感染症対策の参考に、また、医療機関受診時の情報として活用なさってください。



学校目標「全児童に未来社会をしなやかに生き抜く力を育む」

お年玉は「生きる力」を育む重要な機会です(家庭での金銭教育)

お正月にお年玉をもらった子どもも多いのではないかと思います。この「お年玉」は、子ども達が「お金」と向き合う、非常に重要な機会です。ここで金銭感覚の基本を学ぶことは、将来のトラブルを防ぎ、自立した生活を送るための「生きる力」を育むことにつながります。

使い道を子ども任せにしたり、無計画に使わせたりすることは、せっかくの学びのチャンスを逃すだけではなく、金銭トラブルの原因になることも少なくありません。

ぜひこの機会にご家庭で以下の実践に取り組んでみてください。



①使い道について話し合う

「何に使う?」「どれくらい貯金する?」など親子で相談して計画を立ててみましょう。

②お金の出入り(収入と支出)を記録する

使ったお金を記録することで、お金の流れが見えるようになります。

③お金の大切さを話す

物を買うにはお金が必要なこと、働くことでお金が得られることなどを話す良い機会です。

学校では具体的な指導が難しい内容ですから、ぜひ、ご家庭での積極的な関わりをお願いいたします。

「歩いて登校」 児童回答93%、保護者回答94%

学校評価アンケートによれば、「歩いて登校」の項目は、児童93%、保護者94%が「できている」との回答でした。①「暑さ、寒さ、きつさに負けない心と身体づくり」のために、②小学生期に必要な運動量の確保のために、③交通ルールを体感を通して学ぶため、以上に加え、④登校時の児童の安全のため、「歩いて登校」を推奨してきました。これだけの方が賛同くださり、ご協力をくださっていることが分かりました。ご家庭の協力に心から感謝申し上げます。

「駐車許可証」は発行しません

持病やケガ、ご家庭の事情から送迎が必要なお子さんは、安全な登校を優先して、どうぞ車による送迎をなさってください。

また、日頃は元気に歩いて登校している子どもでも、「欠席翌日で体調が万全ではない」「昨日の体育で足が筋肉痛でつらそう」「何となく登校をしづっている」「親子で寝坊をした」など、突発的な理由が生じることもあるでしょう。そういう場合に、「送っていくかどうか」は、子どもの気持ちを大事に聞き取った上で、学校サポーターの皆さんが判断をなさるのがベストだと思います。学校による判断は、なじみません。

校門のところに私が立っているため、送って行きにくいと思われる方もおられるかもしれませんが、全く気になさる必要はありません。私は全ての皆さんと、笑顔で朝の挨拶を交わしたいと思っています。

無病息災を願って「ほんげんぎょう」

1月11日(日)6:50から本校運動場で「ほんげんぎょう」が開催されました。ほんげんぎょうとは、青竹や藁で櫓を組んで、皆さんが持ち寄った門松やしめ縄、書きぞめ、古いお守りなどをその火に入れて燃やし、新しい年の無病息災を願う地域に残る伝統行事です。

当日は、たくさんの地域の方々がおいでになり、火を囲んで新年のあいさつを交わし合っておられました。「高木瀬を愛する会」から美味しいうどんやポン菓子の提供もあり、良い新年の幕開けとなりました。お世話をしてくださった皆様、ありがとうございました。



まなざし新春講演会(1月17日開催)



まちづくり協議会子ども見守り部会の主催で、初代佐賀市まなざし推進専門官の村岡智彦氏をお迎えして標記講演会がありました。地域の皆様60名で子ども達の見守り活動の充実について学びました。子ども達に関心を寄せ自分の時間を使って見守り活動や研修会をしてくださっている方々に感謝の気持ちでいっぱいです。「ながら見守り」の皆様、本当にありがとうございます。